

2023 年大阪労山組織担当者会議 報告

組織部 浜田

【日時・会場】2023 年9月7日(木) 大阪労山事務所 1F 会議室

【出席者】19名 (兵庫労山3名、手話通訳2名含む)

■はじめに 大坂労山の組織の現状 浜田組織部長

最初に、会議の進行と報告内容について説明があった。この話し合いが会員拡大に活かせることが出来ればと考えている。大阪労山の組織数の推移は2001年に1731名(最大会員数)となったが、その後、脱退や会員数の減少があるがセミナー等から新規加入があるので、緩やかに減少している。2013 年末からは新規加入の会員数より脱退する会や各会の会員数の減少が多く急激に会員数が減少している。2022 年末には各会の会員数の減少と3つの会の脱退(79名)により1000名を切り973名となっている。今年度は既に3つの会が高齢化や会員数の減少の理由で脱退している。今年度、連盟では会員拡大の取り組みとして、ハイキングセミナー、子供の冒険学校、各登山学校、クリーンハイク、ダイトレ等で一般の方へ呼びかけて会員拡大に繋がる活動を行っている。組織部としては、5月に「会員拡大についてのアンケート」9月に「組織担当者会議」、11月に「大阪労山クラブ交流会」で各会との交流と組織拡大を考えて取り組んでいる。各会には、「会員の定着と会員拡大の取り組み」を呼びかけました。①会員のニーズ(各年齢に即した山行、普段参加しない会員や他会との交流山行、会員対象の登山講習)に答えられる活動と共につながりを強める活動を ②会員も楽しめるHP(ブログ・SNS)の開設と更新(月に1回以上)を行う。③一般登山愛好家のニーズに応える公開登山(ハイク)や登山学校(教室)を開催する。



■大阪労山の会から会員拡大の活動報告

1. 高槻労山 報告者が参加出来なかったため、浜田が報告書を代読しました。

会として会員拡大と会員の定着はどちらが欠けても会を充実させることはできません。

(1)会員拡大の取り組み ①HPの活用 山行計画・報告は自由に閲覧できるようにしている。2ヶ月毎に更新。②全国連盟労山リーフレット100部活用し、QRコードを作成し添付してクリーンハイク時に配布した。③入会希望者はお試しハイキングを案内。入会後は新人担当者が同行し、質問等に答えるようにしている。(2)会員の定着 ①山行計画は年5回の定例山行部会で3ヶ月毎の計画を決め、会報に掲載。会員の参加が増えるように各トレイル・六甲・比良山系を土曜に連続して計画。平日にも実施。②主要な行事は会報以外にメールも利用して呼びかけている。③会員向けの研修を清掃ハイキング後に行っている。府連主催の登山教室を案内し新人が1名参加した。(府連との連携も重要)④親睦交流を数か月に1回実施している。(納山祭、鍋開き等)⑤全員交流会時に希望する山行を聞き計画に反映。⑥活動のスリム化のため会報の紙版を廃止、電子版とした。⑦剰余金の還元のため、会費を半額に値下げ、ココヘリ加入者には1回に限り会費を免除。清掃ハイクや親睦会時に果物や飲み物・お菓子等を提供している。

2. 大阪たつの子労山 山下事務局長

パワーポイントで会の紹介と会員拡大について説明があった。現在、会は 60 歳台以上の会員が過半数を超えているが、50 歳台の層が一番多い。会員拡大要因としては、①2019 年から障登 PT 主催「手話で学ぶ登山入門講座」を 22 回開催した。非会員も参加し入会した。②山行企画の充実(公開ハイク・雪山登山の企画、遠征山行 8 回、個人グループ山行 97 回、クライミンググループの新設) ③LINE グループを活用して山に関わる有益な情報の写真や動画を投稿している。LINE グループは秘匿性がないので、登山計画届を出しづらかったため、LINE ビジネスアカウントを利用して「登山計画届&下山届」を出している。お互いを知るために、アンケートを取った。(好きな山行等) 今年度の課題や対策としては、ハイキング担当者を輪番制に、会員の体力差への配慮、安全教育の充実、若手リーダーの養成、SNS 活用(インスタグラム等)、クライミングのスキルアップである。

■兵庫県連組織部活動報告 野々脇組織部長

昨年の理事会(2022 年 6 月)で発表した兵庫県連重点課題について報告があった。

①**高齢化対策**:高齢者の事故を防ぐ活動 会員の平均年齢 67 才と高齢化傾向にある。(大阪 61 才)、体力強化・維持活動の推進 ②**会員拡大対策**:40 代以下の若者を取り組む活動 県連組織を上げて進める。各会主体のビジター参加可能な登山教室を開講し新規入会者を獲得する。県連からスタッフを派遣する。③**後継者育成対策**:全体集会・講演会を開催し各会との交流を深める。山行 CL の育成講座を各会で開講する。**兵庫県連組織活性化 P の立ち上げ**:活動に意欲のある会との活動実績会議(Web 併用)を 3 ヶ月毎に開いた。8/23、11/29、4/19 その会議の活動実報報告から、今後の活動への課題として①各会とのコミュニケーション不足(各会へ出向く) ②会の課題や悩みのアンケートを取る。③地域毎の合同ハイキングを復活させる ④会員拡大が進んでいる会の発表の場を設ける。以上の取り組みを考える。他に、公開セミナー(教室、スクール)を取り組んでいる西宮山岳会等の紹介があった。一般参加者へ公式ラインを使ってつながり作りをしているとの話が印象的でした。

■2023 年度組織拡大についてのアンケート集計結果

今年度のアンケート結果のまとめと 2009 年度から 5 回の年度比較を行った。●新会員の加入は、年々HP や SNS からの入会者が増えている。●退会した理由は、昔は仕事で退会する人が多かったが、最近



は高齢化によって退会する人が増えている。●会員拡大の話し合いは、積極的に話し合いをする会がコロナ禍のためか減っている。●会員数の年度比較では、会員数の減少が年度毎に増えている。特に今年度は退会者の人数が入会者に比べて大幅に多くなっている。

■参加の会の現状報告

- A 会:バスハイクを検討中、旅行業法に問題ない取り組み方を教えてほしい。
- B 会:HP から 1 名入会したが、フォローが難しい。
- C 会:会員を増やす活動をしていない。
- D 会:コロナ禍で登山教室を中止や募集人数を減らした。HP や体験教室から入会している。高齢化のため教育が難しい。
- E 会:市民ハイクを取り組んでいるが入会に繋がらない。教育は連盟の学校で実施している。

2023年度 組織拡大についてのアンケート集計結果(32会) その1

このアンケートは大坂労山に加盟する各会の組織の現状の確認、そして各会の会員拡大に活かす目的で3年ぶりに実施します。
尚、会費の追徴などの目的ではありません。また、各会のコロナの影響などお聞きしました。

作成: 2023/9/7

会名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	合計		
入会者	8	0	1	2	0	4	1	17	3	2	0	5	5	6	0	0	3	1	0	2	0	0	0	0	4	4	0	2	0	1	1	5	77		
退会者	6	0	2	2	1	3	2	26	17	2	0	6	5	1	3	2	3	1	0	0	0	0	1	0	5	1	1	2	9	0	8	6	115		
増減	2	0	-1	0	-1	1	-1	-9	-14	0	0	-1	0	5	-3	-2	0	0	0	2	0	0	-1	0	-1	3	-1	0	-9	1	-7	-1	-38		
1.1. 新会員が加入した理由?																																			入会者数
① ホームページ等から加入	4							13	2				1	4			2											2	1				29	38 %	
② 会員の勧め	2						1	4	1			3	1				1									1						1	15	19 %	
③ 新聞・雑誌から																																	0	0 %	
④ 公開登山教室等参加						4																								1	4		9	12 %	
⑤ 連盟学校セミナー関係																																	0	0 %	
⑥ その他	2	1	2							2	2	4	1			1				2					4	3						24	31 %		
	※1	※3	※4							※7	※8	※9	※10			※12	※13							※14	※15							77	100		
1.2. 会員が退会した理由は?																																			退会者数
① 会員の高齢化による退会	3	2	1			1	2	13		1	2	1	1		2	1	1							3				1	1	4	40	35 %			
② 山行の趣向の変化による	1					2		8	2			2	1	2									1							1	2	22	19 %		
③ 転勤など仕事の都合	1		1					5	1		2	1			1								1				1	1	3	18	16 %				
④ その他	1			1				15			2	1	1	1									1	1	1	1	7	3	35	30 %					
	※2			※5			※6			※20	※11	※21											※22	※23	※24							115	100		
2.1. 会員拡大の取り組み																																			提出クラブ数
① 積極的に話しあい							1	1	1					1	1	1											1			1	1	9	29 %		
② 話し合いが少ない	1	1	1	1	1		1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	18	58 %		
③ 全く話し合っていない											1																	1	1			4	13 %		
																																	31	100	
2.2. 実施内容																																			提出クラブ数
① ホームページ・ブログ・フェイスブック	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	25	78 %	
② メールリスト	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	28	88 %	
③ 会報発行	1			1				1	1	1			1	1	1							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	38 %	
④ ブログ・HPに山行記録	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	19	59 %	
⑤ 新聞へ掲載									1																								1	3 %	
⑥ 山の店等にチラシ						1		1																1							1	4	13 %		
⑦ 公開登山学校・教室開催						1		1																				1		1	1	5	16 %		
3. 新型コロナの影響																																			提出クラブ数
① 室内例会の実施	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	24	75 %	
② 例会山行の実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	27	84 %	
③ 総会を実施した	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	27	84 %	
④ リモート会議を取り組む				1	1		1	1	1	1				1	1	1																1	1	11	34 %
⑤ 公開山行を取り組む	1	1		1	1	1	1	1	1	1		1				1	1	1	1	1	1	1						1		1	1	16	50 %		

<2023年組織拡大アンケート集計結果のまとめ その1>

1.1. 新会員が加入した理由

ホームページ等のSNSにより入会している人が多い
次に、転籍で入会した人が多くいた。

1.2. 会員の退会理由

会員の高齢化によって退会する人が最も多い。
次に、コロナ禍のため把握出来ない人が多い。

2.1. 各会の会員拡大の取り組み

話し合いが少ない会が増えている(過半数以上)

2.2. 実施内容

HPやブログなどのSNS(会の紹介や入会募集)をしている会が多い。
会報の発行が減少し、山行記録のHP等への掲載が増加。山の店へのチラシや新聞掲載が減少
各会の新型コロナの影響

総会、室内例会、例会山行が通常通りの会が増えている。

<その他>

会員数が減少した会が14会、増加の会は6会 全体で-38名であった。
特に、今年度は退会者の人数が入会者に比べて大幅に多くなっている。

- ※1 転籍
- ※2 親の介護
- ※3 登山アプリ
- ※4 転籍
- ※5 転籍
- ※6 把握できていない
- ※7 OBの復帰
- ※8 労山以外の会から移籍
- ※9 再入会、山行で、知り合い
- ※10 移籍
- ※11 病死
- ※12 移籍
- ※13 転籍
- ※14 再加入3、会員からの勧め
- ※15 移籍
- ※20 幽霊会員で退会
- ※21 不明
- ※22 病死
- ※23 学業に専念
- ※24 家事都合

2023年度組織拡大についてのアンケート集計結果 その2「年度比較」

作成：2023/9/7

		2023年度 32会提出		2020年度 33会提出		2017年度 28会提出		2012年度 44会提出		2009年度 25会提出	
会名		合計		合計		合計		合計		合計	
入会者		77		61		53		112		50	
退会者		115		91		68		118		44	
増減		-38		-30		-15		-6		6	
1.1. 新会員が加入した理由？		／入会者数		／入会者数		／入会者数		／入会者数		／入会者数	
①	ホームページ等から加入	29	38 %	20	33 %	16	30 %	27	24 %	17	34 %
②	会員の勧め	15	19 %	14	23 %	19	36 %	42	38 %	19	38 %
③	新聞・雑誌から	0	0 %	0	0 %	0	0 %	3	3 %	5	10 %
④	公開登山教室等参加	9	12 %	15	25 %	3	6 %	0	0 %	0	0 %
⑤	連盟学校セミナー関係	0	0 %	8	13 %	3	6 %	18	16 %	0	0 %
⑥	その他	24	31 %	4	6 %	12	23 %	22	20 %	9	18 %
		77	100 %	61	100 %	53	100 %	112	100 %	50	100 %
1.2. 会員が退会した理由は？		／退会者数		／退会者数		／退会者数		／退会者数		／退会者数	
①	会員の老齢化による退会	40	35 %	40	44 %	20	29 %	57	48 %	6	14 %
②	山行の趣向の変化による	22	19 %	12	13 %	11	16 %	9	8 %	5	11 %
③	転勤など仕事の都合	18	16 %	21	23 %	20	29 %	18	15 %	33	75 %
④	その他	35	30 %	18	20 %	17	25 %	34	29 %	0	0 %
		115	100 %	91	100 %	68	100 %	118	100 %	44	100 %
2.1. 会員拡大の取り組み		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数	
①	積極的に話しあい	9	29 %	19	58 %	14	50 %	17	39 %	9	36 %
②	話し合いが少ない	18	58 %	12	36 %	10	36 %	24	55 %	15	60 %
③	全く話し合っていない	4	13 %	2	6 %	4	14 %	3	7 %	1	4 %
		31	100 %					44	100 %	25	100 %
2.2. 実施内容		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数	
①	ホームページ・ブログ・フェイスブック	25	78 %	27	82 %	18	69 %	29	66 %	14	56 %
②	メールリスト	28	88 %	27	82 %	23	88 %	26	59 %	15	60 %
③	会報発行	12	38 %	13	39 %	13	50 %	24	55 %	14	56 %
④	ブログ・HPIに山行記録	19	59 %	18	55 %	15	58 %	17	39 %	6	24 %
⑤	新聞へ掲載	1	3 %	3	9 %	6	23 %	7	16 %	2	8 %
⑥	山の店等にチラシ	4	13 %	5	15 %	3	12 %	6	14 %	3	12 %
⑦	公開登山学校・教室開催	5	16 %					7	16 %	0	0 %
								116		54	
3. 新型コロナの影響		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数		／提出クラブ数	
①	室内例会の実施	24	75 %								
②	例会山行の実施	27	84 %								
③	総会を実施した	27	84 %								
④	リモート会議を取り組む	11	34 %								
⑤	公開山行を取り組む	16	50 %								

2.1 会員拡大の取り組み

コロナ禍前は積極的に話し合っている会が過半数以上であったが、コロナ禍で会合が出来なくなったためか、積極的に話し合う会が減少している。全く話し合っていない会も増えている。

2.2 会の実施内容

HPやSNSの開設やメールリストはほとんどの会で実施している。会報については紙からHP上での発行に変更したり、山行記録をブログやHPIに掲載している会が増えている。新聞への掲載は新聞社の掲載が少なくなったこともあるのか少なくなっている。

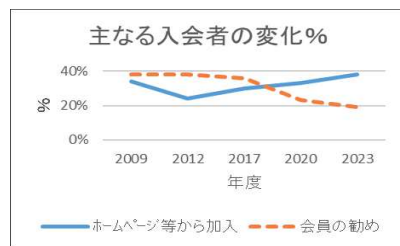
3. 新型コロナの影響

2020年は総会が書面審議でしたり、会合も実施していなかった会があったが、今回、ほとんどの会で通常通りの総会・室内例会・例会山行を実施している。コロナ禍で始めたリモート会議等は引き続き実施している会も多い。公開山行については実施する会が増えてきている。

4. 全体を通して

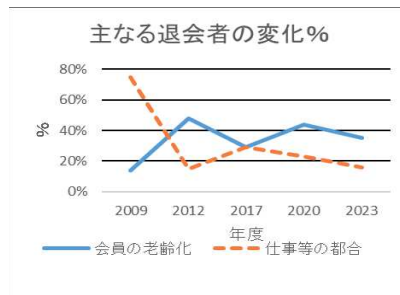
今回、会員増の会は6会であるが、会員減の会は14会であった。会員数の減少が年度毎に増えてきている。特に今年度は退会者の人数が入会者に比べて大幅に多くなっている。(加入者は昨年度は転籍者が4名であったが、今年度は転籍・移籍合わせて24名であった)

1. 組織拡大についてのアンケートのまとめ その2 年度比較



1.1 新会員の加入

HPやSNSからの入会者が多い。会員の口コミ(知人の紹介)や公開登山教室からの加入も多い。コロナ禍のため公開の登山教室は減っている。今回は、昨年度に脱退した会からの転籍者が多くいた。年々、HPやSNSからの入会者率が増えている。



1.2 退会した理由

2009年は仕事で退会する人が多かったが、最近では会員の老齢化によって退会する人が増えている。次に趣向の変化、仕事や家庭(育児・介護)の事情により退会している。コロナ禍で山行や会合の減少の影響かその他(把握できなくて退会)で退会している人が多い。